

第18回生研フォーラム「広域の環境・災害リスク情報の収集と利用フォーラム」

日時：平成21年3月9(月), 10日(火)

場所：東京大学生産技術研究所(駒場Ⅱキャンパス) D棟 大セミナー室Dw601

連絡先：03-5452-6409(沢田教授室直通)

* 発表：12分、質疑応答：3分

平成21年3月9日(月)		
10:00 - 10:15	開会挨拶	沢田治雄 教授 (東京大学生産技術研究所)
マイクロ波		
10:15 - 10:30	GPM/DPRアルゴリズムの開発:基礎方程式とその解法	○瀬戸心太(東大生研)・沖 大幹(東大生研)・井口俊夫(NICT)
10:30 - 10:45	4成分分解手法を用いた多偏波マイクロ波散乱におけるイネの植栽密度と土壌の影響評価	○須崎純一(京大)・小田真彰(京大)・田村正行(京大)
10:45 - 11:00	森林分布図作成精度向上を目指したSAR画像の地形効果補正の評価	○竹内 渉(東大生研)・赤塚 慎(東大生研)・その他2名
11:00 - 11:15	PALSARモザイクデータセットの地形効果補正	○赤塚 慎(東大生研)・竹内 渉(東大生研)・沢田治雄(東大生研)
11:15 - 11:30	Mapping Deforestation in Riau, Indonesia by using 50m ALOS PALSAR MOSAIC Based on Amplitude and Texture Characteristic	○ラクワティン ブリーサン(JAXA/EORC)・磯口 治(JAXA/EORC)・その他2名
11:30 - 13:00	昼食 (90分)	
災害リスク評価		
13:00 - 13:15	UAVベースの災害観測システム開発	○長井正彦(東大)・柴崎亮介(東大)
13:15 - 13:30	ASTER火山衛星画像データベース	○浦井 稔(産総研)
13:30 - 13:45	ALOSデータ等による農業災害把握	○斎藤元也(東北大)・谷津愛実(東北大)・小川茂男(農工研)
13:45 - 14:00	Estimating forest and land fires risk using Multi-Criteria Decision Analysis (MCDA) and Geographic Information System (GIS) in West Kutai District, East Kalimantan, Indonesia	○Arief Darmawan(東大)・露木 聡(東大)・Heru Santoso(CIFOR)
14:00 - 14:15	数値モデルによる海岸線の津波浸水流勢緩和効果の推定-Sri Lanka Hambantota島の事例-	○大平 亘(自然研)・三塚直樹(自然研)・本多 潔(AIT)・原田堅治(埼玉大)
14:15 - 14:30	AMSR-Eを用いた地表面冠水率分布図の作成	○森 主門・竹内 渉(東大生研)・沢田治雄(東大生研)
14:30 - 15:00	休憩 (30分)	
環境監視		
15:00 - 15:15	静止気象衛星MTSATを用いた晴天画像検索システムの構築	○山田洋平(京大)・大吉 慶(京大)・田村正行(京大)
15:15 - 15:30	衛星で推定した光合成有効放射量の水稲収量予測への有用性	○桑田賢太郎(筑波大)・奈佐原顕郎(筑波大)
15:30 - 15:45	MODISデータからの光利用効率推定に関する地上観測データを用いた検証	○石原光則(岐阜大)・奈佐原顕郎(筑波大)・三枝信子(国環研)・秋山 侃(岐阜大)
15:45 - 16:00	NOAA-14/AVHRRに基づいたNDVI値における較正係数の影響	○丹波澄雄(弘前大)・福田圭介(弘前大)
16:00 - 16:15	MODISによるアジアメガシティの大気汚染観測と都市交通排気ガスの空間分布特性解析	○岸 浩稔(東大生研)・竹内 渉(東大生研)・沢田治雄(東大生研)
16:15 - 16:30	DMSP/OLSゲイン調整画像を用いた飽和光の補正手法及び電力消費量の推定	○胡斯勒図(千葉大)・八木 浩(千葉大)・格根塔娜(千葉大)・その他2名
17:00 - 19:00	懇親会	

平成21年3月10日 (火)

土地被覆土地利用

10:00 - 10:15	土地被覆変動検出のための離散的時系列モデルの開発	○澤田義人(システムハイデント)
10:15 - 10:30	衛星データを用いた土地利用・土地被覆変動検知自動アノテーションシステムの開発	○澤田義人(産総研)・岩男弘毅(産総研)・山本直孝(産総研)
10:30 - 10:45	ウルムチにおける土地被覆と熱環境の関係について	○細村 宰(東京電機大)・クドス イمام(東京電機大)
10:45 - 11:00	部分空間法による土地被覆分類	○Hasi Bagan(国環研)・竹内 渉(東大生研)・山形与志樹(国環研)
11:00 - 11:15	衛星画像のテクスチャ特徴量を用いた都市域マッピング	○宮崎浩之(CSIS)・岩男弘毅(産総研)・柴崎亮介(CSIS)
11:15 - 11:30	樹林地創出の外部経済効果と政策への適用の検討	○小林優介(損保ジャパン・リスクマネジメント)・沢田治雄(東大生研)・その他1名

昼食 (90分)

生態系モニタリング

13:00 - 13:15	高分解能衛星画像のための基準点データベースの構築	○高木方隆(高知工科大)・小島光博(高知工科大)・田内雅也(高知工科大)
13:15 - 13:30	時系列NDVIを用いた森林分布把握手法	○三塚直樹(自然研)・大平 亘(自然研)
13:30 - 13:45	LiDARおよびALOS/PRISMデータから抽出された森林の3次元構造と森林成長モデルの統合手法の開発	○田口 仁(東大生研)・遠藤貴宏(東大生研)・沢田治雄(東大生研)・安岡善文(国環研)
13:45 - 14:00	LiDARを用いた樹冠領域抽出方法に関する研究	○遠藤貴宏(東大生研)・田口 仁(東大生研)・沢田治雄(東大生研)
14:00 - 14:15	Landscape-scale habitat distributions of the Javan Hawk-Eagle (<i>Spizaetus bartelsi</i>) in Java Island, Indonesia	○Syartinilia(東大)・露木 聡(東大)

休憩 (30分)

熱環境

14:45 - 15:00	MTSATデータを利用した地表面温度観測手法の開発	○大吉 慶(京大)・竹内 渉(東大生研)・田村正行(京大)
15:00 - 15:15	衛星-地上同期観測と気象シミュレーション、建物エネルギーモデルを結びつけた大阪市域における熱環境総合解析の試み	○平野勇二郎(名大)・井村秀文(名大)・外岡秀行(茨城大)・その他5名
15:15 - 15:30	植生分布が夏季の最低気温に及ぼす影響	○越智士郎(近畿大)・中野正和(近畿大)

閉会挨拶

沢田治雄 教授 (東京大学生産技術研究所)